

板橋区内で繁殖している猛禽類

いたばし野鳥クラブ会長 栗林菊夫

21世紀に入る数年前から、板橋区内でツミが繁殖していることが判明しました。群像舎（イヌワシなどの映画を制作）と連携し、約7年かけて、映画『街で子育て小さな猛禽・ツミ』〔図〕を2002年に完成させました。その後、繁殖を確認できない年もありましたが、昨年はなんと区内3ヶ所でツミが繁殖しました。

現在のところ、板橋区内ではツミ以外に、チョウゲンボウ、オオタカの2種類が繁殖しています。まずチョウゲンボウの繁殖ですが、確認したのは5年ほど前です。それ以前から繁殖しているものと思われませんが、巣から落ちたヒナが保護されたことで、区内で繁殖していることが判明しました。

オオタカについては、おとなりの区で繁殖していますので、いずれ板橋区内でも繁殖するのではないかと考えていましたが、2013年になって、初めて巣を作り、繁殖に入るのを確認しました。継続的に地元の方々が観察していて、ヒナが確認

され、繁殖が成功したことが判りました。続けて昨年も繁殖し、2年連続ヒナが育ちました。今年もオオタカの繁殖活動が確認されている中、2月末に都市で生息するオオタカの繁殖について研究する学生から「いたばし野鳥クラブ」に協力依頼が来ました。早速地元の面々と共に、現地の案内をしました。

ツミ：昨年、区内3ヶ所で営巣し、1ヶ所では2回も繁殖に成功しました。しかし調査を行っていませんので、現在、これ以上のことは分かりません。もしかしてツミの繁殖場所は、板橋区内にもっと多くあるかもしれません。

チョウゲンボウ：繁殖が確認されてから5年ほど過ぎています。工場のダクトの中で繁殖しているので、外からは見えず、ヒナの成長する経過は解りませんが、ヒナが巣立つ5月末頃には姿が確認できます。区内で繁殖できる場所は他にもありそうなので、調べる必要があると思います。

オオタカ：隣接区の公園では、すでに5、6回繁殖していると思いますので、そこで育ったオオタカが、板橋区に来て繁殖したものと想像されます。この2月に学生を案内した時に、巣の上にいるのを目撃しました。案内する前に地元の観察者が巣材を運んでいるオオタカの姿を撮影していますので、これからがたのしみです。板橋区内には繁殖場所以外で、オオタカが確認されているのは、荒川沿いの数カ所があります。2月現在でも、2羽が絡み合っている姿が見られ、1羽には足環がついているのが確認されています。



【連絡先】 電話 / Fax : 03-3959-2072

メール : itabashi-wildbirds-club@jcom.home.ne.jp